

仙台河川国道事務所の道路改築事業概要

国土交通省 東北地方整備局
 仙台河川国道事務所長 田中 誠柳



1. はじめに

仙台河川国道事務所では、宮城県内の直轄国道（国道4号、6号、45号、47号、48号、108号）433.4kmを管理延長とし、直轄国道の慢性的な交通混雑の解消や交通事故削減に向け、バイパス整備や道路拡幅、交差点改良等を進めています。

道路改築事業では、仙台拡幅（竈ノ瀬～鹿の又）、仙台拡幅（箱堤交差点立体化）、大衡道路、築館バイパス、石巻河南道路、古川東バイパス、石巻バイパス（沢田工区）の7事業に取り組んでおり、早期完成を目指し整備を促進しています。

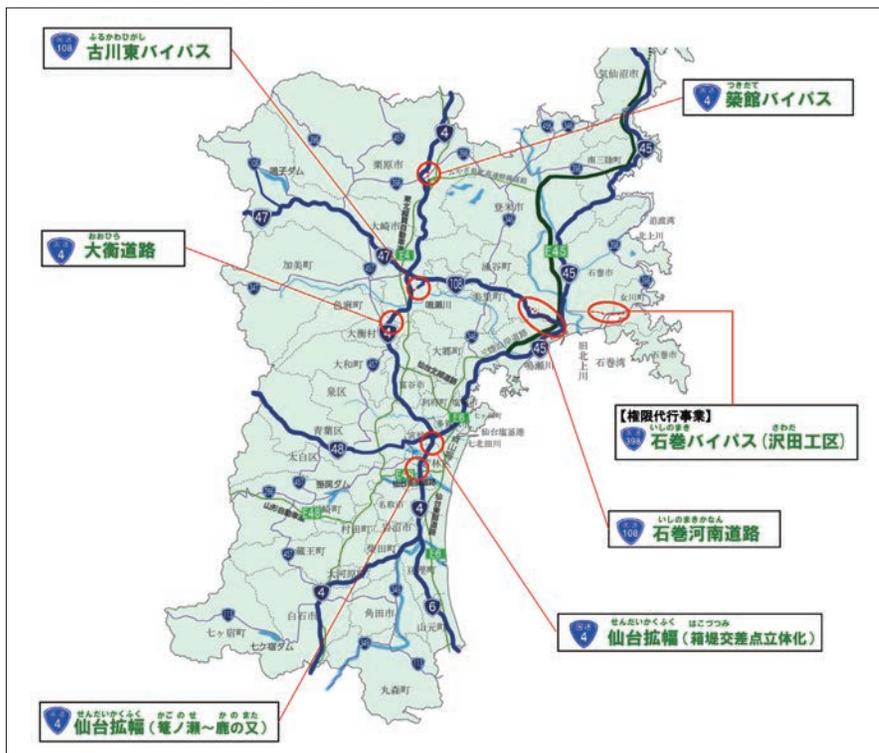
本稿では、開通目標を公表している仙台拡幅、大衡道路、古川東バイパスの3事業について、事業概要を紹介します。

2. 各事業の紹介

2.1. 仙台拡幅（箱堤交差点立体化）

仙台市内を通過する国道4号は、慢性的な交通混雑が発生しています。この交通混雑の緩和と、混雑の緩和による交通事故の減少を目的とし、令和元年度から、速度低下により著しい渋滞が発生している箱堤交差点（卸町交差点～苦竹IC間、L=1,400m）の立体事業に着手しています。令和5年度に上部工架設が完了し、今年6年11月に床版工事が完成、現在は箱

事業箇所図（道路改築事業抜粋）



【国道4号 仙台拡幅（箱堤交差点立体化）】高架橋部の橋面舗装を施工
 堤高架橋の舗装工事、立体化に伴う年度内に高架橋部分の開通を目指し
 照明灯設置工事を進めており、令和6年11月に床版工事が完成、現在は箱

2.2. 大衡道路

国道4号の仙台市～大崎市間で唯一2車線のボトルネックとなっており、大雪などにより並行する東北自動車道が通行止めになると特に交通が集中して、交通混雑が発生しております。交通事故も発生するなど、円滑な物流の確保や交通安全に対して支障をきたしていることから、平成28年度より4車線拡幅事業に着手して、用地買収及び道路改良工事を推進中です。一部区間（大衡村大衡字萱刈場（河原交差点）～大衡村駒場字蕨崎）の延長2.0kmについては、令和8年度の開通を目指しています。



【国道4号 大衡道路】現道交通を切廻しながら工事推進



【国道108号 古川東バイパス】全線で道路改良工事を展開

2.3. 古川東バイパス

大崎市内を通過する国道108号は、近年の交通量の増加、車両の大型化に伴い、交通混雑はもとより沿道環境に支障をきたしていました。これらの諸問題を解消するため、大崎市古川鶴ヶ塚を起点とし、大崎市街地の南側を迂回して大崎市古川稲葉の国道4号に至る延長5.1kmのバイパス整備を進めています。

令和2年3月までに大崎市古川鶴ヶ塚～大崎市古川宮内までの延長3.5kmを2車線で部分開通しました。令和7年度全線暫定開通を目指し、残る1.6km区間の改良舗装工事を推進しています。

3. インフラ DX 推進の取り組み

「2.1」でご説明しました箱堤交差点立体化事業において、箱堤高架橋の上

部工事（橋長285.0m、鋼5径間連続箱桁橋）、交差点内の架設に際し、交通への影響を最小限に抑えるため、1夜間で約100m、上下線併せて4車線分の重さ約750tの橋桁を送出す「急速送出し工法（1m/分）」を採用しました。

本工法を確実に施工するため、インフラDXを活用し、レーザースキャナ

測量や4D架設シミュレーションを実施し、高度な施工計画を立案しました。さらに、送出し架設時にはデジタルツインシステムを構築し、現地施工状況を管理情報とともにクラウドで一元管理して見える化することで、施工管理の省人化と夜間施工時間（交通規制時間）の短縮を実現しております。

4. おわりに

昨今、地球規模での気候変動により、激甚化・頻発化する災害が多発しています。仙台河川国道事務所では、令和6年1月1日に発生した能登半島地震では石川県へ、7月23日～26日かけて発生した梅雨前線と低気圧による大雨では山形県へ、9月の能登半島豪雨により更に甚大な被害を受けた石川県へ、発生後、直ちにTEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）として職員を派遣し、被災地を支援してきました。

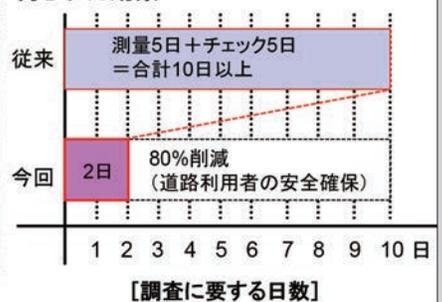
今後は、自然災害から得られた教訓を活かしつつ、未来へ繋がる地域社会の発展のため、地域の皆様のご理解・ご協力のもと、また、関係する自治体や建設業界の皆様とも連携し、安全・安心なインフラ整備に尽力して参るとともに、地域の活力・魅力向上に取り組んで参ります。

■ レーザースキャナ測量による近接道路への影響調査



【点群データの統合】

得られた効果



▲ レーザースキャナによる現地点群データを統合し、近接道路に対する影響調査に活用。調査期間が約80%短縮（10日→2日）に加え、道路利用者の安全確保に寄与。